

平成24年中の「インターネット・ホットラインセンター」の運用状況等
 について

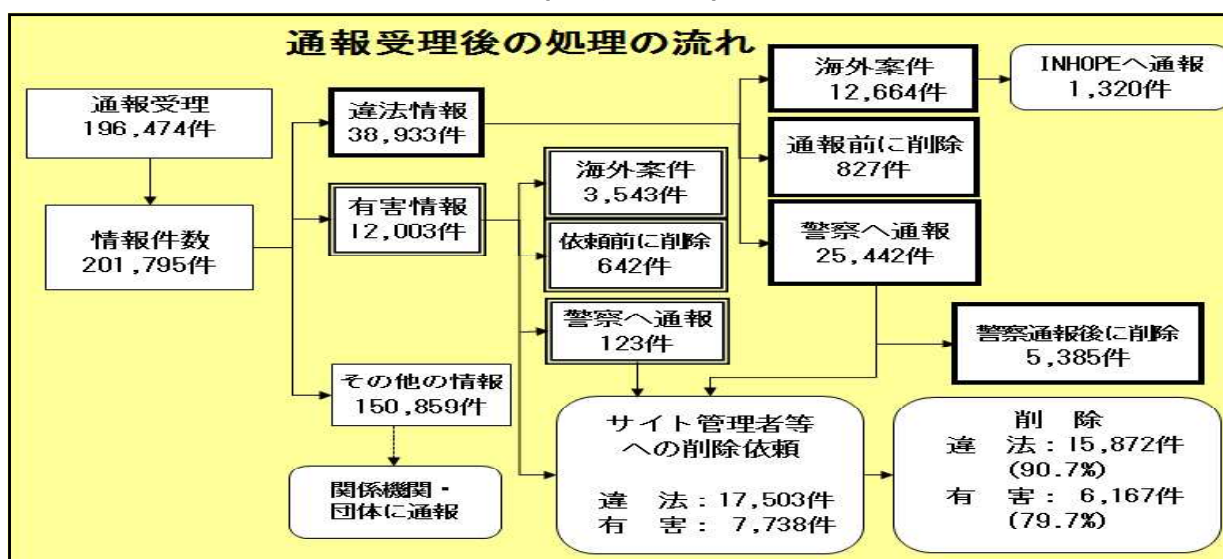
1 運用状況 【 1 頁 】

(1) 通報受理状況 【 2 頁 】

センターが受理した通報件数は196,474件（前年比+20,220件）、情報
 件数は201,795件（+19,038件）で、いずれも過去最高。

警察への通報件数は25,565件（+1,701件）。

違法情報は38,933件（+2,360件）、有害情報は12,003件（+7,176件）、
 その他の情報は150,859件（+9,502件）。



1件の通報に、複数の違法情報、有害情報が含まれている場合があり、通報受理件数と情報件数は一致しない。

INHOPEとは、国際的なホットライン相互間の連絡組織で、1999年に設立。2013年3月末時点で43団体（37の国・地域）が加盟。通報受理件数のうち1,826件は、INHOPE加盟団体からの通報。

(2) 通報処理状況 【 2 頁 】

センターからサイト管理者等への削除依頼については、依頼した違法情報17,503件のうち15,872件（90.7%、前年比+26.8P）が削除、依頼した有害情報7,738件のうち6,167件（79.7%、+30.7P）が削除。

2 センターからの通報に基づく検挙状況 【 3 頁 】

(1) センターから通報を受けた違法情報に係る検挙件数は、「全国協働捜査方式」の定着化等により、3,303件（前年比+1,704件）で過去最高。

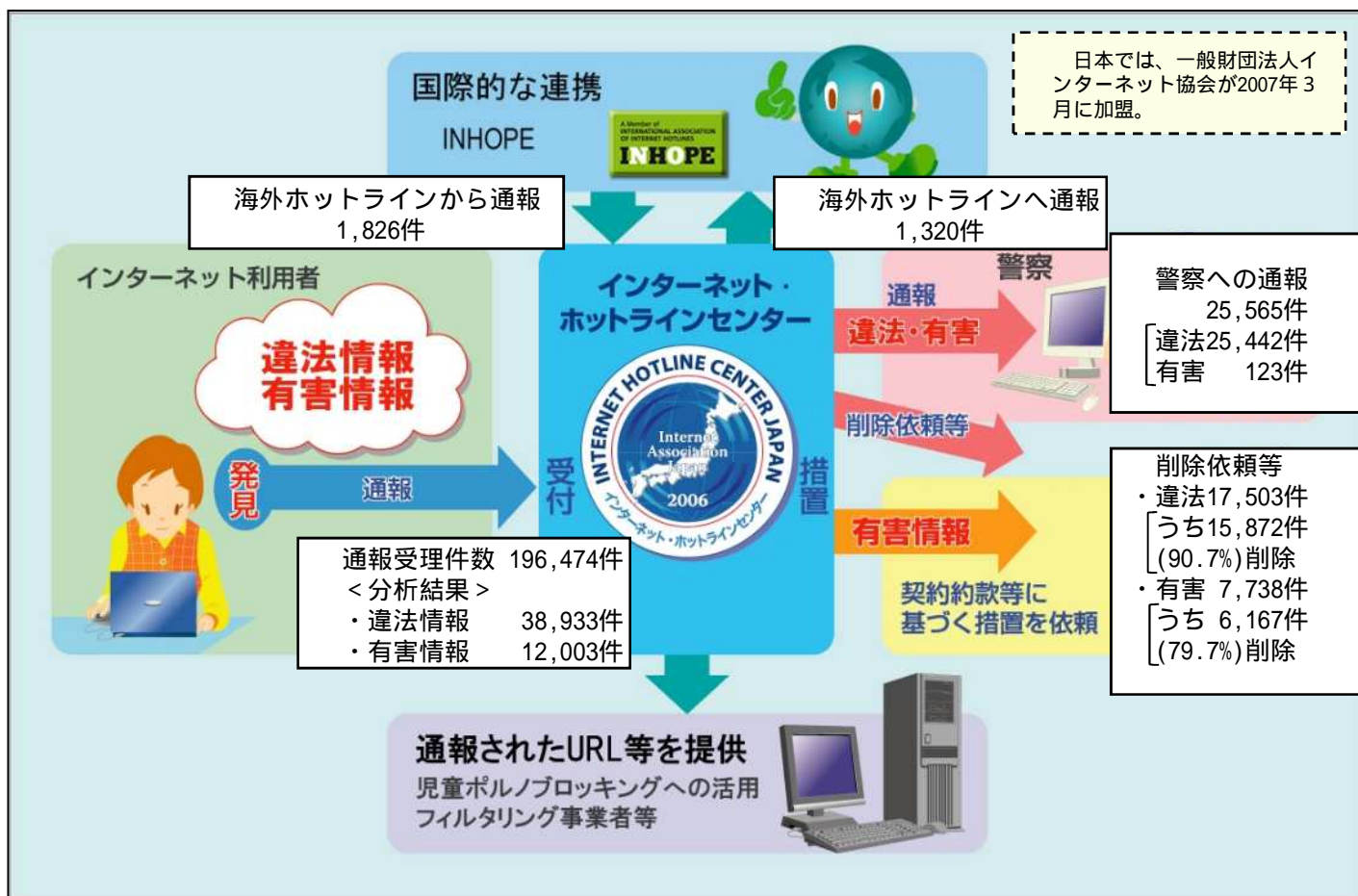
(2) 平成24年4月から捜査対象に加えた有害情報に係る検挙件数は、7件。

3 今後の対策

(1) 引き続きセンター業務の効率化を図るとともに、関係機関・団体等との連携により、インターネット上の環境浄化に資する違法・有害情報対策を強力に推進。

(2) 取締り結果に関する広報啓発活動を積極的かつ効果的に推進するとともに、「全国協働捜査方式」による違法・有害情報の取締りを継続して推進。

第1 インターネット・ホットラインセンターの運用状況（平成24年中）



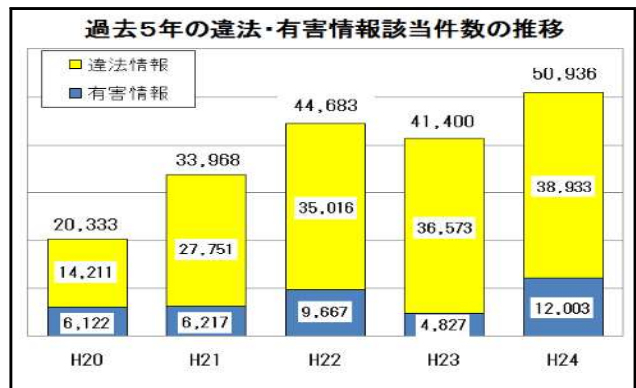
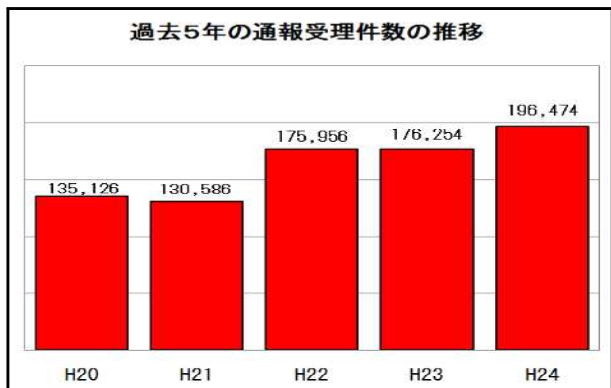
IHCに通報される違法情報

- わいせつ物公然陳列（刑法第175条第1項）
- 児童ポルノ公然陳列（児童ポルノ法第7条第4項）
- 売春目的等の誘引（売春防止法第5条第3号及び第6条第2項第3号）
- 出会い系サイト規制法違反の禁止誘引行為（同法第6条）
- 薬物犯罪等の実行又は規制薬物（覚せい剤、麻薬、向精神薬、大麻、あへん及びけしがら）の濫用を、公然、あおり、又は唆す行為（麻薬特例法第9条）
- 規制薬物の広告（覚せい剤取締法第20条の2、麻薬及び向精神薬取締法第29条の2及び第50条の18、大麻取締法第4条第1項第4号）
- 預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引（犯罪収益移転防止法第27条第4項）
- 携帯電話等の無断有償譲渡等の勧誘・誘引（携帯電話不正利用防止法第23条）
- 識別符号の入力を不正に要求する行為（不正アクセス禁止法第7条第1号）
- 不正アクセス行為を助長する行為（不正アクセス禁止法第5条）

IHCに通報される有害情報

- 情報自体から、違法行為（けん銃等の譲渡等、爆発物の製造、児童ポルノの提供、公文書偽造、殺人、脅迫等）を直接的かつ明示的に請負・仲介・誘引等する情報
- 列挙する違法情報について、違法情報該当性が明らかであると判断することは困難であるが、その疑いが相当程度認められる情報
- 人を自殺に誘引・勧誘する情報

1 過去5年の通報受理件数及び違法・有害情報該当件数の推移



2 過去5年の類型別件数の推移

(1) 違法情報類型別件数 (過去5年)

	H20	H21	H22	H23	H24	前年比
わいせつ物公然陳列	8,121	14,755	19,870	20,772	27,334	+6,562
児童ポルノ公然陳列	1,864	4,486	5,188	3,694	2,935	-759
売春周旋目的の誘引	4	4	1	3	0	-3
出会い系サイト規制法	785	1,478	743	779	1,034	+255
薬物犯罪等の実行等	4	5	188	253	416	+163
規制薬物の広告	1,020	2,555	4,469	9,601	4,969	-4,632
預貯金通帳等の譲渡等	1,296	2,382	2,688	908	1,758	+850
携帯電話等の無断有償	1,117	2,086	1,869	563	470	-93
識別符号の入力を不正に要求					17	-
不正アクセス行為の助長					0	-
合計	14,211	27,751	35,016	36,573	38,933	+2,360

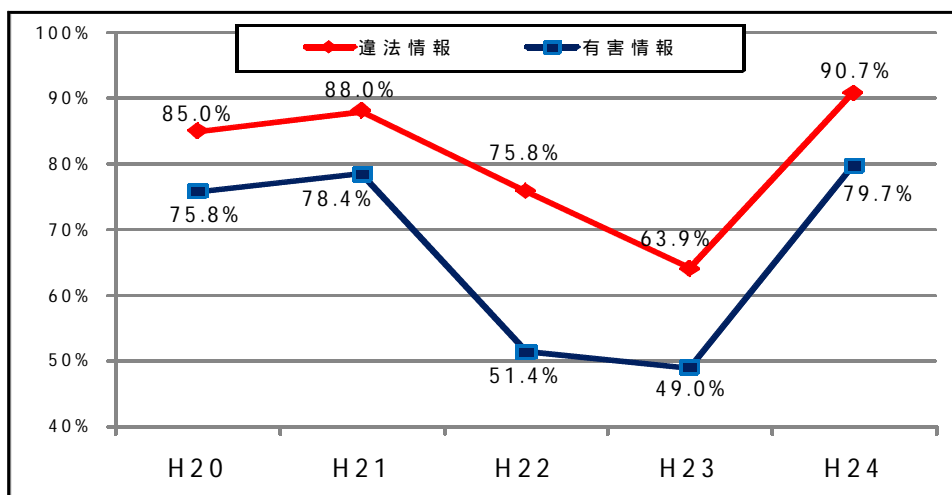
(2) 有害情報類型別件数 (過去5年)

	H20	H21	H22	H23	H24	前年比
違法行為の誘引等	5,971	5,978	8,709	3,923	8,741	+4,818
違法情報の疑い	57	162	932	891	3,007	+2,116
人を自殺に誘引・勧誘	94	77	26	13	255	+242
合計	6,122	6,217	9,667	4,827	12,003	+7,176

塗りつぶし箇所は、過去最高の件数。

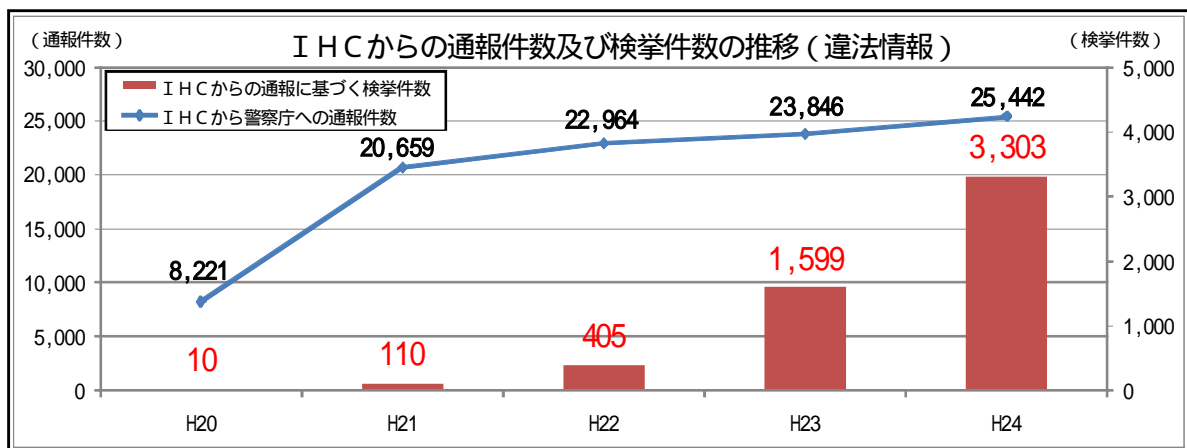
平成24年7月1日から、違法情報の2類型「識別符号の入力を不正に要求」「不正アクセス行為の助長」を追加。

3 過去5年の違法・有害情報削除率の推移



第2 センターからの通報に基づく検挙状況
1 違法情報における分類別検挙件数等

分類	わいせつ	児童ポルノ	売春	出会い系	薬物	口座	携帯	不正アクセス (フィッシング)	不正アクセス (助長)	計
通報件数 (前年比)	16,755 (+3,384)	1,308 (-580)	0 (-3)	944 (+210)	4,541 (-2,104)	1,523 (+755)	371 (-66)	0	0	25,442 (+1,596)
検挙件数 (前年比)	2,982 (+1,747)	87 (-10)	0 (0)	69 (-3)	89 (-17)	68 (-14)	8 (+1)	0	0	3,303 (+1,704)



2 検挙事例

違法情報

【わいせつ電磁的記録記録媒体陳列】

被疑者（ピアノ教室経営・男性・47歳）らは、インターネット上の電子掲示板にわいせつ画像を掲載して、不特定多数のインターネット利用者が閲覧できる状況を設定したものの。

また、わいせつ画像を削除することなく放置した同電子掲示板の管理者（建築業・男性・49歳）を、わいせつ凶画陳列幫助等で検挙した。（6月・兵庫、愛知）

【児童買春・児童ポルノ法違反等】

被疑者（理容師・男性・38歳）は、インターネット上の電子掲示板に、児童ポルノ画像等を掲載して、不特定多数のインターネット利用者が閲覧できる状況を設定したものの。（7月・大阪）

【覚せい剤取締法違反】

被疑者（会社員・男性・26歳）は、インターネット上の電子掲示板に、「S専門、0.25 7000」等と覚せい剤販売を意味する隠語や価格を掲載して、不特定多数のインターネット利用者が閲覧できる状況を設定したものの。（5月・愛知）

【犯罪収益移転防止法違反、詐欺】

被疑者（無職・男性・23歳）は、インターネット上の電子掲示板に、「〇座買ってくれる人いませんか」等と預貯金通帳の譲受け等を誘引する文章を掲載し、不特定多数のインターネット利用者が閲覧できる状況を設定したものの。

また、同事件を端緒に、詐欺グループの拠点を発見し、同所において外国通貨の投資話を電話で持ちかけ、高齢者から現金をだまし取っていた被疑者（無職・男性・38歳）ら5人を詐欺で検挙した。（3月・警視庁）

有害情報

【出会い系サイト規制法違反】

強姦の請負に関する捜査対象有害情報を端緒として、当該書き込みが掲載されたサイトが無届の出会い系サイトであったことを捉え、同サイトの管理者（会社員・男性・44歳）を、出会い系サイト規制法違反（無届）で検挙した。（5月・大阪）